



サイト

Xit 取扱説明書

- 本書では特に指定のない限り、「地上デジタル放送」「BS デジタル放送」「110度CS デジタル放送」をまとめて「デジタル放送」と表記します。
- Windows の基本的な操作については記載していません。Xit の操作は Windows の一般的な操作に準拠しています。
- 本書で使用しているアプリケーションの画面は、実際と異なる場合があります。また、番組の映像は、はめ込み合成です。
- パソコンの環境によっては、本書に記載されていても表示されない、または、操作できない項目があります。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部およびすべてを無断で転載することは禁じられています。
- Xit は日本国における株式会社ピクセラの商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- AVCREC はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- SeeQVault および SeeQVault ロゴは、NSM Initiatives LLC の商標です。
- その他、記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標もしくは登録商標です。
- 本書では ® および ™ などの商標マークは省略しています。

目次

はじめに

はじめに	4
デジタル放送の種類	4
はじめてXitを起動する前に	4
外付けハードディスクの対応フォーマット	4
Xitを起動する／終了する	4
使用上のご注意	5
アプリケーションの使用制限	5
パソコンの機能制限	6
待機モードについて	7
初回設定	8

テレビを見る

テレビを見る	9
視聴ランキング	10
お好みのチャンネルだけを表示する	10
イベントリレーについて	10
番組表を見る	11
番組表を更新する	11
番組を検索する	12
検索条件を登録する	12
音声・テキストで操作する (Xit Genius)	13

録画／再生する

録画する	14
見ている番組を録画する 手動録画	14
予約する	14
番組を指定して予約する 番組表予約	14
日時を指定して予約する タイマー予約	14
条件を指定して予約する おまかせ予約	15
予約一覧	16
録画一覧	17
再生する	18
録画番組を再生する	18
スキップ再生	19
ダイジェスト再生	19
ホームネットワークでの共有 (録画番組の配信)	20
ワイヤレステレビ機能対応アプリ・Xit ワイヤレスとの接続	21
チャプターの編集	22
チャプターとは?	22
チャプター編集画面を表示する	22
チャプターを登録する	22
再生しないシーンを設定する	23
書き出し	24
コピー残数を確認する	24
対応メディア	24
必要容量の目安	24
録画番組を書き出す	25

設定する

設定する	26
設定画面を表示する	26
音声の出力形式を変更する	27
映像の表示方法を変更する	27
録画するHDDの優先度を設定する	27
録画画質を変更する	28
番組を解析する	28
パソコンを持ち出して再生する	28
番組を自動で削除する	29
視聴年齢制限を設定する	29
オススメ番組を表示する	29
録画情報管理ツール	30
録画情報管理ツールを起動する	30
録画時に生成されるデータと管理について	30
すべての録画情報を削除する	30
チューナーの録画情報を削除する	30
録画番組を別のドライブへ移動する	31
再生できなくなった番組を復元する	31
管理外のファイルを削除する	31

困ったときは

テレビの視聴について	32
地上デジタル放送が映らない	32
地上デジタル放送の一部のチャンネルが映らない	32
地上デジタル放送の映像が乱れる・コマ落ちする	32
BS・CSデジタル放送が映らない	33
BS・CSデジタル放送の映像が乱れる・コマ落ちする	33

録画や予約について	34
録画できない場合があります	34
予約できない場合があります	34
指定した画質で録画されていない	34
録画予約に失敗する	34
予約した番組が遅延や延長したとき	35
予約が重なったとき	35
予約一覧で【番組情報未取得】と表示される場合	35
エラーメッセージが表示される	36
ライセンス	37

はじめに

デジタル放送の種類

デジタル放送には以下の3種類の放送波があります。



地上デジタル放送

地上の無線局を通じて送信されるデジタル放送です。UHFアンテナの設置が必要です。ケーブルテレビの放送波をご利用の場合はパススルー方式でのみ受信できます。



BSデジタル放送

放送衛星 (Broadcast Satellite) を使ったデジタル放送です。受信する場合は、対応のパラボラアンテナが必要です。また、一部のチャンネルは放送事業者との受信契約が必要です。ch (ステレオ) に変換して出力します。



110度CSデジタル放送

通信衛星 (Communication Satellite) を使ったデジタル放送です。受信する場合はパラボラアンテナおよび放送事業者との受信契約が必要です。

はじめてXitを起動する前に

■ 管理者ユーザーアカウントで起動してください

はじめて起動するときは、管理者のユーザーアカウントで起動してください。また、はじめて起動したときは使用許諾契約書の画面が表示されます。内容を確認のうえ、[同意する] をクリックしてください。

■ ファイヤーウォールの設定

セキュリティソフトなどのファイヤーウォール機能を使用する場合は、「初回設定 (P.8)」が完了してから以下を参考に設定してください。

プログラムファイル名	StationTV_X.exe RecordManageTool.exe STVXAnalyzer.exe STVEditor.exe PxDMSCConfig.exe
プロトコル/ポート番号	UDP / 1900 TCP / 49152 * TCP / 50125 <small>* デフォルトポート番号です。他のアプリケーションと競合する場合は、上記ポート番号に1を足してください。</small>

外付けハードディスクの対応フォーマット

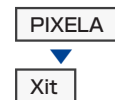
NTFS 形式に初期化 (フォーマット) された USB2.0 以上対応のハードディスクのみ使用できます。

- ※ 使用するハードディスクの転送速度が不足している場合、完全に録画できない場合があります。
- ※ 外付けハードディスクはパソコンに直接接続してください。USB ハブ経由で接続した場合、録画に失敗するなどの問題が発生することがあります。
- ※ 録画を開始する前に、外付けハードディスクが使用可能な状態になっているか確認してください。指定したドライブが録画開始時に使用可能でないときは録画できません。
- ※ 録画中の外付けハードディスクに対して、ファイルコピー等の負荷を与え続けると、録画番組の映像が止まったり、コマ落ちする場合があります。

Xitを起動する / 終了する

■ スタート画面から起動する

- Windows の [スタート] メニューをクリックします。
- 以下の項目を選択します。



■ デスクトップ画面から起動する

- パソコンのタスクトレイの **Xit** をダブルクリックします。
※この起動方法は、Xit が「待機モード (P.7)」のときだけ有効です。

■ 終了する

- パソコンのタスクトレイの **Xit** を右クリックして [アプリを終了する] を選びます。

※録画番組の書き出し中は終了できません。

- ① この方法で終了すると、録画予約の実行ができません。「待機モード (P.7)」にすることでXitの映像と音声を停止できます。

使用上のご注意

アプリケーションの使用制限

■ B-CAS カードは常に挿入しておいてください

B-CAS カードが挿入されてなかったり、破損や汚損していると、放送を受信できなくなります。また、視聴中に B-CAS カードを抜きさしすると、映像が止まる場合があります。B-CAS カードは必要のない限り抜かないでください。また、抜きさしの必要があるときは、パソコンの電源を切ってから行ってください。

■ Xit を起動できない場合があります

以下のような場合は起動できません。

- 管理者または標準ユーザー以外のユーザーアカウントで使用しているとき。
- 他のユーザーが Xit を使用しているとき。
- リモートデスクトップから起動しているとき。

■ 映像を表示できない場合があります

- 解像度が 1024 × 576 ピクセル未満のディスプレイはサポートしていません。
- HDCP に対応していないディスプレイに映像は表示されません。
- 画面を縦長の向きにして使用した場合、表示の一部が画面からはみ出して、見えなかったり、操作できなかったりする場合があります。画面は横長の向きで使用することをおすすめします。
- マルチディスプレイで使用する場合、複製表示しているディスプレイに映像は表示されません。

■ 映像の 2 画面表示はできません

Xit のウィンドウを複数表示して、番組を複数視聴することはできません。

■ 映像が止まったり、コマ落ちする場合があります

- Xit の使用中に Windows Media Player (ウィンドウズメディアプレーヤー) などの他のアプリケーションが動作していると、音声や映像が途切れたり、映像が正しく表示されないなど、正常に動作しない場合があります。また、その他の使用状況やシーンによっては、視聴時の映像がスムーズに表示されない場合があります。
- パソコンの性能によっては、録画番組の書き出し中に映像が止まったりコマ落ちする場合があります。
- 録画中の外付けハードディスクに対して、ファイルコピー等の負荷を与え続けると、録画番組の映像が止まったり、コマ落ちする場合があります。

■ 音声に変換される場合があります

デジタル放送の 5.1 チャンネル音声は、2 チャンネルのステレオ音声に変換(ダウンミックス)されます。

■ データ放送の一部のサービスが利用できない場合があります

データ放送の双方向サービスを利用する場合は、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。また、録画番組の再生中に表示したデータ放送では、双方向サービスを利用することができません。

■ 緊急警報放送は受信できません

Xit はデジタル放送の緊急警報放送の受信に対応していません。

■ 番組の切れ目で視聴画面の映像が一瞬途切れます

録画の開始時と終了時に、視聴画面の映像が一瞬途切れることがあります。

■ 録画の前に確認してください

大切な録画を行う場合は、事前に試し録画をして、正しく再生できることを確認してください。本製品の使用中に発生した不具合、または本製品が使用不能になったことにより、録画・再生ができなくなった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。

■ 停電などで、録画やハードディスクへの保存、書き出しが失敗することがあります

録画中に停電などで断電すると、録画や書き出しに失敗したり、ハードディスクから録画番組の一部、またはすべてが削除されたりする場合があります。この場合、録画番組の一部、またはすべてを再生できないことがあります。

■ 書き出せない番組があります

音声のみの番組やデータ放送のみの番組は書き出すことができません。

■ 正常に書き出せていない場合でも、書き出し可能回数が減ります

書き出しをキャンセルしたり、失敗した場合でも、書き出し可能回数が 1 回減ります。ただし、SeeQVault デバイスへの書き出しの場合を除きます。

■ 書き出しに時間がかかる場合があります

パソコンの性能によっては、録画番組の書き出しに時間がかかる場合があります。

■ DVD への書き出しには対応ディスクとドライブが必要です

録画番組を DVD に書き出すときは、CPRM(Content Protection for Recordable Media) に対応したドライブとディスクが必要です。

使用上のご注意

■ブルーレイへの書き出しには AACS キーが必要です

ブルーレイには、著作権保護のため AACS (Advanced Access Content System) というコンテンツ保護技術が採用されています。この技術によって暗号化されたデータを読み取るために、AACS キーが必要になります。Xit には AACS キーが搭載されていますが、AACS キーの有効期限が切れている場合は、ディスクへの書き出し時に自動的に更新します(インターネット接続が必要です)。また、一定期間を経過すると、更新が有料となり、購入サイトへの案内メッセージが表示されます。

■SeeQVault デバイスへの書き出しには対応メディアと NSM キーが必要です

SeeQVault には、著作権保護のため NSM キーが必要になります。Xit は SeeQVault デバイスへの書き出し時に NSM キーを自動的にダウンロードします(インターネット接続が必要です)。

■著作権について

本製品で録画したものを、無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、インターネット配信、レンタル(有償・無償を問わず)、販売することは、法律により禁止されています。

パソコンの機能制限

■視聴・再生中はスクリーンセーバーが起動しません

Xit の視聴画面が表示されている間は、スクリーンセーバーが起動しません。

■Windows がスリープや休止状態に移行しないときがあります

Xit が以下の状態のときは、タイマーによるスリープへの移行は実行されません。また、ワイヤレス書き出し中は、手動でスリープに移行できません。

- 放送・番組情報の受信中
- 録画中
- 再生中
- 書き出し中
- 編集ウィンドウの表示中
- ホームネットワークでの共有中

■プリントスクリーン機能が使えなくなります

Xit の視聴画面が表示されている間は、プリントスクリーン機能は使用できません。

■パソコンがモダンスタンバイに対応している場合、スリープや休止中に録画できません

スリープや休止中に録画は実行されません。

■ハードディスクの取り扱いについて

ハードディスクは非常に精密な機器です。お使いの状況によっては、部分的な破損が起きたり、最悪の場合はデータの読み書きができなくなったりするおそれもあります。ハードディスクは、録画した内容を恒久的に保存する場所ではなく、一度見るための一時的な保管場所としてお使いください。

待機モードについて

待機モードとは？

視聴を停止してタスクトレイに収納するモードです。待機モードのときは、番組表の情報収集などを行いながら録画予約の待機をします。

以下のいずれかの状態にあることを示します。



- 各画面表示中(視聴・再生時など)
- 番組表情報取得中
- お知らせ受信中
- おまかせ予約処理中

以下のいずれかの状態にあることを示します。



- 録画中
- 予約録画の準備中
- 書き出し中
- 見どころアシストの解析中



Xit が待機モードであることを示します。




Xit ワイヤレスが接続し、放送中の番組を視聴している状態であることを示します。

待機モードにする


- [視聴をやめる] をクリックします。



映像・音声の出力が停止して、Xit がデスクトップ画面のタスクトレイに収納されます。

また、ウィンドウ表示のときは、 をクリックしても待機モードになります。

待機モードから復帰する

- パソコンのタスクトレイの  を右クリックします。

※ダブルクリックすると視聴画面で復帰します。

- どの画面で復帰するかを選びます。

初回設定

- ソフトウェア使用許諾の内容を確認して、[はい]をクリックします。

① 同意いただけない場合は、Xit を利用することができません。

- アンテナの電源を設定し、[次へ]をクリックします。

※お使いのチューナーによっては、この画面は表示されません。

チューナー/アンテナ
受信感度とBSデジタル放送およびCSデジタル放送用アンテナへの電源供給を設定します。

「アッテナ設定」は、電波が強すぎる地域では[ON]にしてください。
「アンテナ電源(LNB電源)設定」は、他の機器からアンテナに電源を供給する場合や、集合住宅などで共同アンテナを使用している場合は[OFF]にしてください。

アッテナ設定:

アンテナ電源(LNB電源)設定:

- 「放送波」と「ご利用の地域」を選び、[スキャン開始]をクリックします。

チャンネルスキャンが開始されます。スキャンには時間がかかる場合があります。

① アンテナ線の接続と B-CAS カードの挿入に問題がないかを確認してください。

放送波: ご利用の地域:

- 番組表に表示するチャンネルを選び、[次へ]をクリックします。

チャンネルスキャンの結果が表示されます。番組表に表示するチャンネルにチェックを入れます。

チェックを入れたチャンネルを番組表に表示 検出されたチャンネルのみを表示

<input checked="" type="checkbox"/>	地上デジタル	13ch	021	NHK総合
<input checked="" type="checkbox"/>	地上デジタル	13ch	022	NHK総合
<input checked="" type="checkbox"/>	地上デジタル	13ch	023	NHK総合
<input checked="" type="checkbox"/>	地上デジタル	14ch	101	NHK総合
<input type="checkbox"/>	地上デジタル	14ch	102	NHK総合

スキャン開始 選択中のチャンネルの受信レベル: **86** (良好)

Xit を複数台接続しているとき

テレビチューナーを複数台接続している場合に B-CAS カードの契約情報の入力画面が表示されます。有料放送の契約している B-CAS カードを契約ありに変更してください。

カードID:

有料放送の契約:

カードの状態: 正常です。

- 録画した番組をチューナー未接続で利用するかどうか(パソコン持ち出し再生)を設定し、[次へ]をクリックします。

「する」に設定すると、チューナー未接続でも録画番組の再生ができるようになります。この設定は後から変更できます。

① 残りコピー回数が 1 回の時に、録画番組の書き出しができなくなります。

パソコン持ち出し再生
録画する番組をチューナー未接続で利用するかどうかを設定します。
[ON]にすると、チューナー未接続のときでも録画番組の再生ができます。ただし、残りコピー回数が1回のときは録画番組の書き出しができないので注意してください。

パソコン持ち出し再生:

- 動作履歴の送信の内容を確認して、設定を変更し、[次へ]をクリックします。

動作履歴の送信を [ON] にすることで、より関連性の高いオススメを表示することが可能です。

動作履歴送信
動作履歴の送信とオススメ番組の表示を設定します。
動作履歴の送信を [ON] にすることで、より関連性の高いオススメを表示することが可能です。

- クラウド録画を設定し、[次へ]をクリックします。

クラウドストレージ内に番組を録画する機能です。専用のオンラインストレージを契約することでご利用いただけます。1ヶ月間は無料です、ぜひお試しください。

※お使いのチューナーによっては、この画面は表示されません。

クラウド録画設定
クラウド録画の設定を行います。
※設定すると、録画の保存先に「クラウド」を選択できるようになります。



「クラウド」とは録画データをインターネット上に保存するためのスペースのことです。

- [OK] をクリックし、初回設定は完了です。

ファイヤーウォールの設定は P.4 を参照してください。

完了
以上で初回設定は完了です。

【ご注意】
初回使用時は番組表の情報がありません。番組を数分間見ることで、その放送局の番組表を取得できます。すべての放送局の番組を取得するには、Xit を待機モードにしてください。ただし、取得には数十分かかる場合があります。

テレビを見る

Xit を起動すると視聴画面が表示されます。視聴画面をクリックすると各種情報やボタンが表示されます。



① 見ている番組の情報

番組名をクリックすると詳細情報を表示します。

② Web 検索

インターネットブラウザを起動して番組名を検索します。

③ メニュー



メニューボタンの表示数を変更します。



視聴画面を表示します。



番組表 (P.11) を表示します。



録画一覧 (P.17) を表示します。



予約一覧 (P.16) を表示します。



番組検索 (P.12) を表示します。



設定 (P.26) を表示します。

④ 見ている番組を録画

⑤ 録画を停止

⑥ チャンネル切り換え

チャンネルを昇順/降順で切り換えます。

⑦ チャンネル一覧を表示

⑧ データ放送を操作

くわしくは P.10 を参照してください。

⑨ 視聴設定

字幕表示 字幕の表示言語を切り換えます。

文字スーパー表示 文字スーパーの表示言語を切り換えます。

音声 番組内の音声を切り換えます。音声種別 (主音声 / 副音声 / 主音声 + 副音声) が切り換わったり、言語が切り換わったり、番組によって異なります。

映像 マルチ映像を切り換えます。

❗ 対応していない番組では選択できません。

⑩ 音量を調整

⑪ 画面を最大化

ウィンドウサイズを最大化します。視聴画面をダブルクリックすることで、現在のウィンドウサイズ⇄最大化の切り換えもできます。

⑫ 待機モードにする

くわしくは P.7 を参照してください。

⑬ 放送中の番組

クリックするとチャンネルが切り換わります。

⑭ 録画中

録画中の番組に表示されます。

⑮ 視聴ランキング

くわしくは P.10 を参照してください。

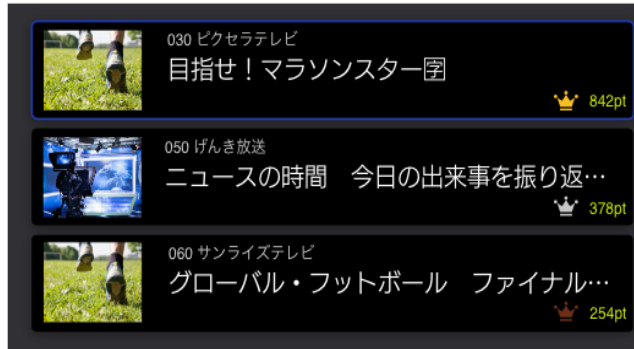
⑯ ジャンルサムネイル

番組のジャンル別にサムネイルを表示します。

テレビを見る

視聴ランキング

「今、どれくらいの人がある番組を視聴しているのか」が一目でわかる機能です。



「pt」は、数字が大きいほど多くの人が見ていることを示し、ptが1位の番組は金の王冠、2位の番組は銀の王冠、3位の番組は銅の王冠がつきます。

リアルタイムで人気番組がわかり、番組を選ぶ手助けになります。

❗ この機能をお使いになるにはインターネットに接続する必要があります。

視聴ランキングに表示される数について

動作履歴の許諾で ON を選択したユーザーの視聴情報をもとに表示しています。

お好みのチャンネルだけを表示する

番組表に表示するチャンネルを選ぶことができます。

●設定画面を開いて、以下の項目を選択します。

設定の表示方法は P.26 を参照してください。

テレビ設定

地域 / チャンネルスキャン

●番組表に表示するチャンネルにチェックを入れます。

●[OK]をクリックします。

イベントリレーについて

デジタル放送では番組が延長される場合、延長部分が別のチャンネルで放送されることがあります(イベントリレー)。この場合は、チャンネルを切り換えるかどうかのメッセージが表示されます。

データ放送をご利用の前に

以下を確認してからご利用ください。

地域設定を行ってください

データ放送で利用する地域の情報を設定します。くわしくは設定 (P.26) の「データ放送設定」を参照してください。

利用上の注意点

- データ放送の双方向サービスを利用する場合は、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。
- 画面上のボタンを直接マウスクリックして操作することはできません。
- 録画番組でデータ放送を表示する場合、双方向サービスは利用できません。

データ放送を見る

● **d** をクリックします。

データ放送の表示を終了するには、**d** をもう一度クリックしてください。

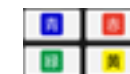
※データ放送が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

● をクリックしデータ放送操作パネルを開きます。

●目的に応じて操作します。



上下左右のボタンで選択項目の移動をしたり、[決定]で選択している項目を実行をします。
「戻る」ボタンは一つ前の画面に戻ります。



選択項目が色ボタンに対応している場合に使用します。

番組表を見る

画面右上のメニューで  [番組表] を選ぶと表示されます。



番組表を更新する

番組表は「待機モード (P.7)」中に更新します。テレビを見ないときはチューナーをつないだまま待機モードにしてください。

- ※ 電波の状況などで多少時間がかかる場合があります。
- ※ 番組の録画中は更新できません。
- ※ 前回取得してから 24 時間後に再取得します。

初めて使うときや、しばらくテレビを見ていなかったとき、番組情報がないことがあります。すぐに更新する場合は、番組を数分間見ること視聴中のチャンネルの番組情報を取得します。

また、パソコンがスリープ/休止状態のときも自動で取得できます。設定 (P.26) の「番組表設定」で設定してください。

①日付

番組表の日付を切り換えます。

②録画可能時間

録画の保存先に設定したハードディスクの空き容量から算出した録画可能時間です。設定の画質モード (P.28) で設定した画質で算出しています。

③表示サイズの変更

番組表の表示を大きくしたり、小さくしたりします。見やすいサイズを選んでください。

④放送波

放送波を切り換えます。

⑤オススメを一覧で表示

オススメの番組 (P.29) を一覧で表示します。


⑥現在の時刻

現在の時刻を表します。

⑦選択中の番組

選択中の番組です。クリックすると番組詳細が表示されます。

表示されるアイコン

 オススメ番組 (P.29) です。

 録画中の番組です。

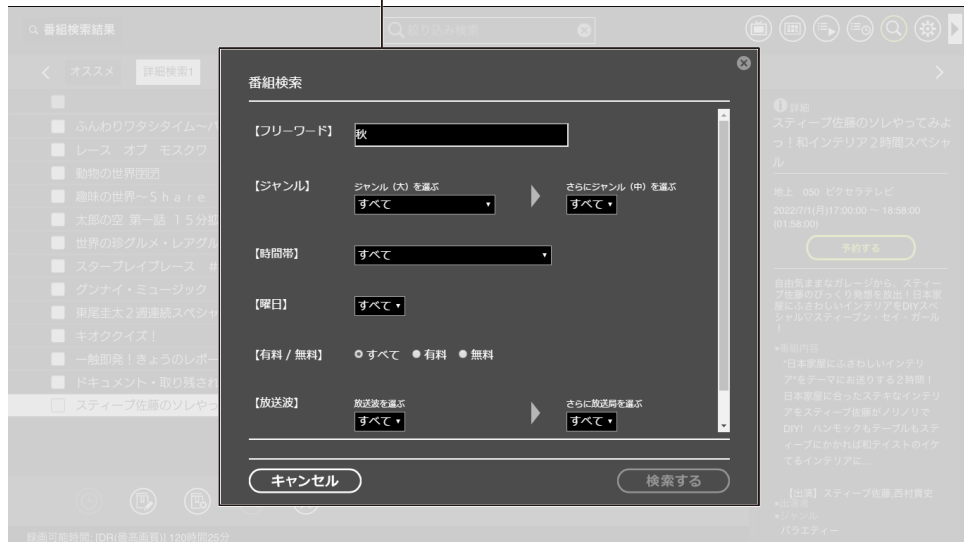
 番組表で予約 (P.14) を登録した番組です。

 おまかせ予約 (P.15) を登録した番組です。

 予約が重複している番組です。

番組を検索する

画面右上のメニューで [番組検索] を選ぶと表示されます。



検索条件を登録する

①登録した検索条件

登録した番組検索の条件を横並びに表示します。クリックすると条件に該当する番組のみを一覧に表示します。

②オススメ番組

オススメ番組（P.29）を一覧で表示します。この条件は Xit にあらかじめ登録されています。

③絞り込み検索

一覧に表示された番組を絞り込み検索します。キーワードを入力してください。

④番組をすべて選ぶ

検索結果に表示されている番組すべてを選択します。

⑤番組を選ぶ

編集などで操作する番組にチェックを入れます。

1つの番組に をクリック

チェックを入れる Ctrl キー + 番組をクリック

連続した複数の番組に 始めの番組をクリックしてから、
チェックを入れる Shift キー + 番組をクリック

※ 複数ページにまたがった範囲選択はできません。

⑥検索条件を使って操作したり、編集する

番組を選んでクイック予約(P.14)します。

検索条件を編集します。

検索条件を削除します。

おまかせ予約(P.15)の登録を解除します。

検索条件に合った番組をおまかせ予約(P.15)します。

⑦検索条件の新規登録

をクリックします。
条件の入力画面が表示されます。

検索条件を入力します。

[検索する] をクリックします。
条件に合う番組が表示されます。

※ 検索結果が表示されるまで、時間がかかる場合があります。

番組表が取得されていない場合は検索できません。番組表を更新してください。(P.11)

音声・テキストで操作する(Xit Genius)

はじめに

Xit Genius を使う前にご確認ください。

■必要環境


- 対応のチューナーをパソコンに接続していること(XIT-SQR200CW)
- パソコンがインターネットに接続されていること

■音声操作の必要環境

- マイクが接続されていること
- Windows の [オンライン音声認識] を ON にしていること
Windows の [スタートメニュー]-[設定]-[プライバシーとセキュリティ] で設定します

■Xit Genius の表示方法

以下のいずれかの方法で表示します。

- Xit の一部の操作時に自動で表示されます。(例：Xit 画面の表示時、ライブ視聴開始時)
- パソコンのタスクトレイの  をクリックします。
- 音声で「Hello, サイト」「ねえ、サイト」と話しかけて呼び出します。



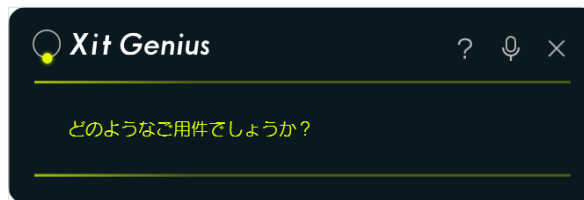
音声、テキストでXitを操作する

音声やテキスト入力を通じて操作ができる機能です。サポート対象の操作であれば、定型的な表現に限らず、自由な言い回しでも操作できます。


■音声で操作する

●「ねえ、サイト」と呼びかける。

Xit Genius が入力待機になります。
「Hey, サイト」、「Hello, サイト」、「なあ、サイト」などでも反応します。



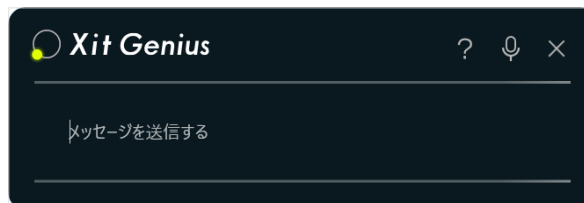
●音声で指示します。

※音声入力を使わないときは、 をクリックしてオフにします。

■テキストで操作する

●Xit Genius 画面をクリックします。

テキスト入力待機になります。



●テキストで指示を入力します。

■操作できること

「TV をつける」	Xit を起動します。
「TV を消す」	Xit を終了します。
「"チャンネル名"をつけて」	指定のサービスを選局します。
「番組表を表示して」	
「録画一覧を表示して」	指定の画面を表示します。
「予約一覧を表示して」	
「人気番組を教えてください」	放送中の人気の番組（視聴ランキング上位 3 件）を表示します。
「人気の予約番組を教えてください」	予約数の多い番組（予約ランキング上位 3 件）を表示します。
「録画して」	視聴中の番組の録画を開始します。 ※ 録画の停止は画面で操作してください。

人気番組をお知らせします

Xit Genius を起動中に、視聴ランキングがトップの番組を 15 分おきに通知します。人気の番組を見逃さないようにぜひチェックしてください。

※ 視聴中の番組が視聴ランキングトップの場合や、一度通知した番組が継続してランキングトップの場合は、通知は表示されません。

録画する

見ている番組を録画する | 手動録画

● 放送中の番組を表示します。

視聴画面の表示方法は P.9 を参照してください。

● をクリックします。

録画を開始するときにオフタイマーの指定ができます。

この番組終了まで 現在録画中の番組終了時に録画を停止します。

次の番組終了まで 次の番組の終了時に録画を停止します。録画する番組の開始前に録画を始めた場合などは、この設定にします。

● 録画を終了するときは、 をクリックします。

どの録画を終了するかを選択できます。

※すべてのチューナで録画をしているときは、録画中のチャンネル以外に切り替えることはできません。

予約する

番組を指定して予約する | 番組表予約

● 番組表を表示します。

番組表の表示方法は P.11 を参照してください。

① 番組表に情報が表示されない場合は、番組表を更新(P.11)してください。

● 録画したい番組をクリックします。

番組詳細が表示されます。

● 録画の画質と繰り返し録画の条件を選択します。

※お使いのチューナーによっては、HX 以下の画質を指定した場合、他の録画と同じ時間帯で重複すると、いずれか一方の録画が自動的に DR に変更されます。DR で録画された番組は、録画番組一覧で「振替 DR」と表示されます。

● [予約をする] をクリックします。

以上で予約は完了です。予約後に Xit を使用しないときは、「待機モード (P.7)」にしておくとお便利です。

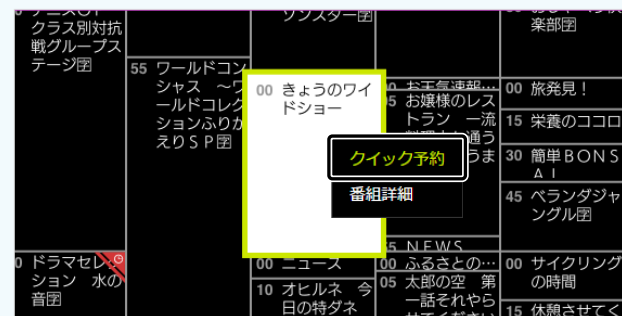
イベントリレー

デジタル放送では番組が延長される場合、延長部分が別のチャンネルで放送されることがあります。この場合は、自動的にチャンネルを切り換えて録画を続行します。

※ 録画番組一覧では、番組が通常放送時間分と延長時間分の2つに分かれて表示されます。
※ 予約録画にも適用されます。

クイック予約

番組表を表示して、番組を右クリックすると [クイック予約] が表示されます。選択するとすばやく予約できます。この場合、設定の「録画/再生設定 (P.28)」で指定した画質で録画されます。



日時を指定して予約する | タイマー予約

● 予約一覧を表示します。

予約一覧の表示方法は P.16 を参照してください。

● [タイマー予約] をクリックします。

タイマー予約設定ダイアログが表示されます。

● 設定項目を変更します。

※お使いのチューナーによっては、2番組を同時録画する場合、HX 以下の画質の録画が同じ時間帯で重複すると、いずれか一方の録画が自動的に DR に変更されます。

● [予約する] をクリックします。

以上で予約は完了です。予約後に Xit を使用しないときは、「待機モード (P.7)」にしておくとお便利です。

タイマー予約で録画された番組

録画番組一覧では、実際に録画された番組名が表示されます。録画時間が2つ以上の番組をまたぐ場合は、それぞれの番組に分割されます。

予約する

条件を指定して予約する | おまかせ予約

あらかじめ設定した条件にあてはまる番組を自動的にピックアップして録画します。

●番組検索を表示します。

番組検索の表示方法は P.12 を参照してください。

すでに登録している検索条件で予約する

番組検索条件のタブを選択して [おまかせ予約] をクリックすると、その条件でおまかせ予約の登録ができます。

● + をクリックします。



条件の入力画面が表示されます。

●詳細条件を指定します。

キーワードや条件を指定して、[検索する] をクリックしてください。

●条件にあてはまる番組を確認します。

●[おまかせ予約] をクリックします。

検索条件がおまかせ予約として登録され、その条件に当てはまる番組が予約されます。以降、番組表が更新されるたびに、該当する番組が予約されます。

おまかせ予約の解除

解除する検索条件をクリックしてから、[おまかせ予約解除] をクリックすると、おまかせ予約が解除されます。

※ 解除すると、すでに登録されているおまかせ予約も削除されます。



●おまかせ予約の制限事項

- 予約が登録されるまでに時間がかかる場合があります。
- 放送中および放送開始まで 2 分以内の番組は録画されません。
- 繰り返し録画の設定はできません。
- 別のおまかせ予約と時間帯が重複する番組は、最初に設定したおまかせ予約の番組が録画されます。
- おまかせ予約を個別に削除すると、削除された番組は別の条件に該当する場合でも登録されなくなります。
- おまかせ予約で録画した番組は、設定の「番組自動削除 (P.29)」の条件にしたがって、古いものから順番に削除されます (保護された番組を除く)。
- 保存先ドライブの空き容量が 15.5GB を下回ると、古いおまかせ予約の録画番組から順番に削除されます (保護された番組を除く)。
- おまかせ予約登録した検索条件を削除するとおまかせ予約も解除されます。

予約一覧

画面右上のメニューで  [予約一覧] を選ぶと表示されます。



① 検索条件

② タイマー予約 / 番組表予約

③ 絞り込み検索

タイトル	開始時刻	番組時間	地
歩け！野鳥日記～とにかく歩いて野鳥探し～	2022/12/01(木)10:00	00:30:00	地
スポーツトリビア「マラソンの起源」 閉	2022/12/04(日)19:00	00:15:00	地
動物の世界閉団	2022/12/07(水)20:00	00:30:00	地
趣味の世界～Share my hobbies～	2022/12/08(木)16:30	00:30:00	地
花子の夕焼け 第一話 15分拡大スペシャル閉団	2022/12/10(土)08:00	00:45:00	地
世界の珍グルメ・レアグルメ「激うま＆激レア！極上オーガニックピク...	2022/12/10(土)20:00	01:55:00	地
スタープレイブレース #13	2022/12/15(水)21:00	00:58:00	地
モーニング・ミュージック 朝から音楽を聴いてすっきり目覚め	2022/12/16(木)06:15	00:35:00	地
冬のスペシャルドラマ「木の Spoon」	2022/12/16(木)21:00	02:05:00	地
フラッシュクイズ!	2022/12/17(金)19:00	01:00:00	地
そんなことアツクク？きょうの出来事をダイジェスト	2022/12/19(日)20:30	00:30:00	地
ドキュメント・取り残される過疎地閉団	2022/12/19(日)23:00	00:45:00	地
エブリデイ・キッチン～きょうの献立なんだろう？～閉「冬の衣替え！...	2022/12/20(火)11:15	00:30:00	地

22件中1～22件

④ 録画可能時間: [D] (録画高画質) 120時間25分

⑤

⑥

⑦

① 検索条件

クリックすると条件に該当する予約のみを一覧に表示します。おまかせ予約(P.15)を登録した条件が表示されます。

② タイマー予約 / 番組表予約

該当の方法で登録した予約のみを一覧に表示します。この条件は Xit にあらかじめ登録されています。

③ 絞り込み検索

一覧に表示された予約を絞り込み検索します。キーワードを入力してください。

④ 予約をすべて選ぶ

検索結果に表示されている予約すべてを選択します。

⑤ 予約を選ぶ


編集などで操作する予約にチェックを入れます。


1つの番組に をクリック
チェックを入れる `Ctrl` キー + 番組をクリック

連続した複数の番組に をクリックしてから、
チェックを入れる `Shift` キー + 番組をクリック

※ 複数ページにまたがった範囲選択はできません。

⑥ 予約を操作する

 予約を削除します。
※ 録画開始 30 秒前の予約は削除できません。
※ おまかせ予約の登録そのものを削除するときは、P.15 を参照してください。

 タイマー予約(P.14)を登録します。

⑦ 予約を編集する

表示している予約を編集します。

録画一覧

画面右上のメニューで[録画一覧]を選ぶと表示されます。



① 検索条件

クリックすると条件に該当する録画番組のみを一覧に表示します。

② 未視聴／おまかせ録画番組

該当の録画番組のみを一覧に表示します。この条件は Xit にあらかじめ登録されています。

③ 検索条件の新規登録

録画番組の検索条件を登録します。よく使う条件を登録しておくことで便利です。

④ 絞り込み検索

一覧に表示された番組を絞り込み検索します。キーワードを入力してください。

⑤ 番組をすべて選ぶ

表示されている番組すべてを選択します。

⑥ 番組を選ぶ

操作する番組にチェックを入れます。

1つの番組に をクリック

チェックを入れる Ctrl キー + 番組をクリック

連続した複数の番組に 始めの番組をクリックしてから、
チェックを入れる Shift キー + 番組をクリック

※ 複数ページにまたがった範囲選択はできません。

⑦ 録画番組を操作する

検索条件を編集します。

検索条件を削除します。

録画番組を別の保存先へ移動します。
※ 次の番組は保存先の移動ができません。録画中の番組／再生中の番組／書き出し中の番組／チャプター編集集中の番組／ホームネットワークで再生中の番組。

録画番組を削除します。
※ 次の番組は削除ができません。録画中の番組／再生中の番組／書き出し中の番組／チャプター編集集中の番組／ホームネットワークで再生中の番組。

録画番組を保護します。

保護を解除します。

⑧ キーワードプレビュー

番組内の話題のキーワードを抜き出して表示します。関連度が高い単語は大きく表示されます。

※ 字幕がない番組には表示されません。

⑨ 番組を再生する

⑩ スキップ再生

本編のみを再生します。くわしくは P.19 を参照してください。

⑪ ダイジェスト再生

スポーツ番組の見どころを抜き出して再生します。くわしくは P.19 を参照してください。

⑫ チャプターを編集

チャプターを追加／変更したり、シーンのスキップを登録できます。くわしくは P.22 を参照してください。

再生する

録画番組を再生する

●録画一覧を表示します。

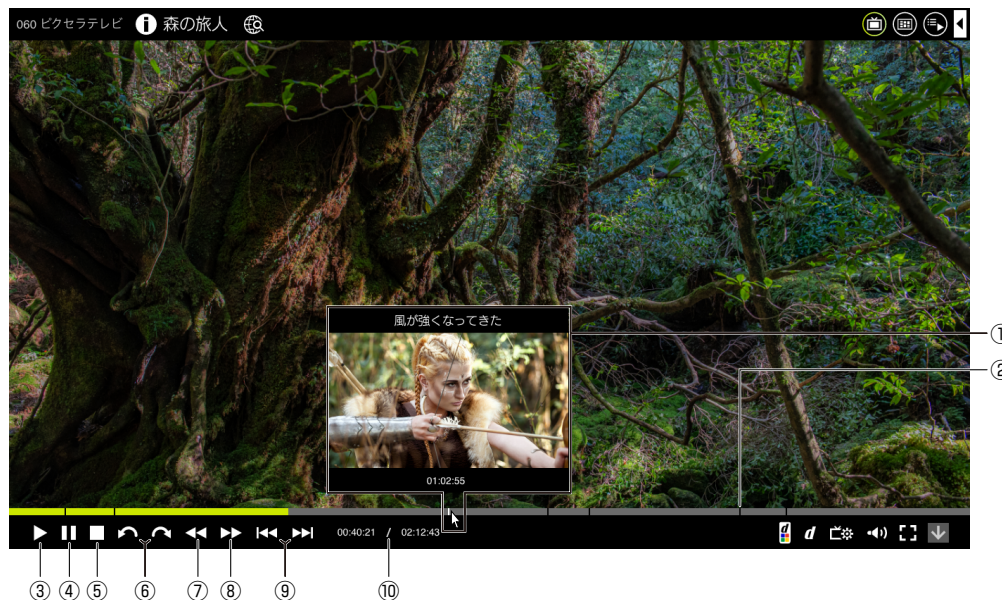
録画一覧の表示方法は P.17 を参照してください。

●再生する番組を選択し、[再生する] をクリックします。

再生を開始します。

画面をクリックすると各種情報やボタンが表示され、もう一度クリックすると消えます。

※現在録画中の番組は、録画が完了している部分まで再生できます。



①シーンサムネイル

番組の進捗バーにカーソルを合わせると、その場面のサムネイルが表示されます。

②チャプター

映像の区切りに表示されます。くわしくは P.22 を参照してください。

③再生する

再生を開始します。

※ 再生中にもう一度クリックすると、通常の 0.8 倍の速度で再生します(ゆったり再生)。もう一度クリックすると通常再生に戻ります。設定の「音声出力 (P.27)」が [PCM] のときに使用できます。

④一時停止する

⑤停止する

再生を停止し、テレビ画面に移動します。

⑥スキップ戻り/送り

指定した秒数を前/後にスキップします。設定 (P.26) の「録画/再生設定」で秒数を指定します。

⑦早戻し

再生を早戻しします。押すたびに 2 倍 / 10 倍 / 60 倍 / 120 倍の速度に切り換わります。

⑧早送り

再生を早送りします。押すたびに 1.2 倍 / 1.5 倍 / 2 倍 / 10 倍 / 60 倍 / 120 倍の速度に切り換わります。

※ 設定の「音声出力 (P.27)」が [PCM] のときに 1.2 倍 / 1.5 倍 / 2 倍速で音声が出力されます(早見再生)。
※ 設定の「音声出力 (P.27)」が [AAC] のときは 1.2 倍速と 1.5 倍速が利用できません。

⑨チャプター戻り/送り

一つ前 / 次のチャプターに移動します。チャプターがない場合は番組の先頭/終端に移動します。

⑩経過時間/残り時間

番組の再生経過時間と残り時間を確認します。

再生する

スキップ再生

チャプターで再生指定されたシーンのみを再生します。

あらかじめチャプターを指定してください

以下のいずれかの方法でチャプターを指定した番組をスキップ再生します。

- 設定の「リアルタイム番組解析 (P.28)」を [ON] にして番組を録画します。自動でチャプターとスキップするシーンが登録されます。
- 「チャプターの編集 (P.22)」で任意のチャプターとスキップするシーンを登録します。

●録画一覧を表示します。

録画一覧の表示方法は P.17 を参照してください。

●再生する番組を選択し、[スキップ再生] をクリックします。

スキップ再生が開始します。

※録画中の番組、音声のみの番組、データ放送のみの番組はスキップ再生できません。

※番組によっては、本編以外の部分も再生される場合があります。

ダイジェスト再生

スポーツ番組の見どころだけを抜き出して再生します。

●録画一覧を表示します。

録画一覧の表示方法は P.17 を参照してください。

●再生する番組を選択し、[ダイジェスト再生] をクリックします。

ダイジェスト再生が開始します。

※ダイジェスト再生時間が 1 分未満になる場合は、通常再生になります。

※設定 (P.26) の「ダイジェスト再生時間」で再生時間を変更できます。

■ダイジェスト再生は以下の条件を満たす番組で利用できます。

- 番組ジャンルが「スポーツ」の番組
- 設定の「リアルタイム番組解析 (P.28)」を [ON] にして録画した番組
- 録画が完了している番組

ホームネットワークでの共有(録画番組の配信)

共有に必要な準備

ホームネットワークで共有することで、Xit で録画した番組を別のパソコンやテレビ、レコーダーで再生できます。

以下の準備が必要です。

- Xit がインストールされているパソコンがインターネットに接続されていること
- 再生する側の機器がホームネットワークに接続されていること

※再生機器がホームネットワークに対応している必要があります。また、機器によっては、上記以外の設定が必要になる場合があります。くわしい設定や再生方法については、使用機器の取扱説明書を参照してください。

共有するときは以下の点に注意してください

- 最大 5 台の機器で同時に利用できます。ただし、ネットワーク環境によっては、複数の機器で再生できない場合があります。
- Xit が録画または書き出しをしている番組は再生できません。
- 音声のみの番組やデータ放送のみの番組は再生できません。
- スキップ再生はできません。
- サムネイル画像などの情報は表示されません。
- 他の機器が再生している番組は、Xit での書き出しおよび削除ができません。

配信設定を行う

●Windows のネットワークプロファイルを「プライベート」に変更します。

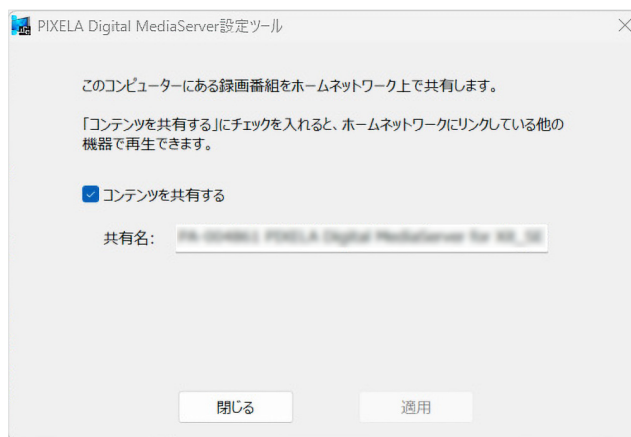
Windows のスタートメニューから [設定] を選択し、接続中のネットワークのプロパティをプライベートに変更してください。くわしい操作方法は、お使いの Windows OS のヘルプを参照してください。

●Xit の設定画面を開いて、以下の項目を選びます。



●[設定] をクリックします。

Digital MediaServer 設定ツールが起動します。



●共有名を入力します。

配信される側の機器で表示される名称です。お使いのパソコンであることを識別できる名称をおすすめします。

●「コンテンツを共有する」にチェックを入れます。

※「状態確認中...」と表示されている間はチェックできません。

●[適用] をクリックします。

「認証方法の確認」画面が表示されます。

●インターネットへの接続方法を選びます。

プロキシサーバーを使用しない	お使いのパソコンが直接インターネットに接続されている場合はこちらを選択してください。
Internet Explorer のプロキシ設定を使用する	T 内部ネットワークなどを使用していて、パソコンがプロキシサーバーを経由してインターネットに接続されている場合はこちらを選択してください。 Internet Explorer のプロキシ設定を使用してインターネットに接続します。

●[OK] をクリックします。

ホームネットワークに接続している他の機器で Xit の録画番組を利用できるようになります。

ファイヤーウォールの設定

セキュリティソフトなどのファイヤーウォール機能を使用する場合は、以下を参考に設定してください。

プログラムファイル名	PxDMSDaemon.exe
プロトコル/ポート番号	TCP / 50125 TCP / 50126

※ デフォルトポート番号です。他のアプリケーションと競合する場合は、上記ポート番号に 1 を足してください。

ワイヤレステレビ機能対応アプリ・Xit ワイヤレスとの接続

Xit ワイヤレスと接続してできること

Xit ワイヤレスを使用して、ホームネットワークで共有されたパソコンに接続すると、視聴や録画の再生など、以下の機能をスマートフォンやタブレット、別のパソコンで使用できます。

- 放送中の番組の視聴
- 録画番組の再生
- 番組表の表示や検索
- 録画予約

Xit ワイヤレスで視聴や録画をするためには

以下を準備してください。

- ホームネットワークの配信設定(P.20)を行うこと
- 再生する側の機器もホームネットワークに接続されていること

以下の点に注意してください

- 同時に接続できる機器の台数は1台です。複数の機器を接続することは、できません。
- Xit が書き出しをしている番組は再生できません。
- 放送中の番組の場合、視聴できるのは Xit が起動している場合だけです。
- Xit が完全に終了すると、Xit ワイヤレスで放送中の番組を視聴できません。
- 音声のみの番組やデータ放送のみの番組は再生できません。
- スキップ再生はできません。
- Xit ワイヤレスの設定は、各クライアント付属のヘルプを参照してください。
- 設定画面が開いている場合、放送中の番組を Xit ワイヤレスで視聴することはできません。
- Xit で録画している場合、放送中の番組を Xit ワイヤレスで視聴することはできません。

チャプターの編集

チャプターとは？

チャプターは映像の区切りに表示されます。再生時にワンクリックで次のチャプターまで進んだり、前のチャプターまで戻ったりできます。

また、チャプターで指定したシーンを再生時にスキップすることもできます(スキップ再生 P.19)。

※ 設定の「リアルタイム番組解析 (P.28)」を [ON] にして番組を録画すると、自動でチャプターとスキップするシーンが登録されます。



①再生するシーン

②スキップするシーン

③シーンの位置

④シークバー表示

番組の時間が長いときに、30分 / 10分に切り換えます。

⑤オートチャプター

番組を解析して自動でチャプターと再生しないシーンを登録します。

※ 設定の「リアルタイム番組解析 (P.28)」を [OFF] にして録画した番組に利用できます。
※ 解析には時間がかかる場合があります。

⑥再生コントロール

シーンの位置を細やかに調整します。

⑦登録した設定で再生する

チャプター編集画面を表示する

●チャプター編集の前に確認してください

- 音声出力形式の設定 (P.27) が AAC のときは、PCM に変更してください。
- 編集中は Windows をスリープや休止状態にしないでください。編集内容が破棄される場合があります。

●録画一覧を表示します。

録画一覧の表示方法は P.17 を参照してください。

●チャプターを設定する番組を選んで、[チャプター編集] をクリックします。



編集ウィンドウが表示されます。

※ 音声のみの番組やデータ放送のみの番組は選べません。

チャプターを登録する

●チャプター編集画面を表示します。

●チャプターを登録する位置にシーンを移動します。

スライダーを任意の位置に移動します。再生コントロールを使って細やかに調整することもできます。



●[チャプターを分割] をクリックします。



チャプターが登録されます。

※ 番組の先頭・終端および直近の指定位置から2秒未満の位置ではクリックできません。

●必要に応じて、手順2～3を繰り返します。

※ 1番組につき最大99個まで設定できます。

チャプター登録をやり直す

やり直したいチャプターを選ぶと、[チャプターを分割] ボタンが [前のチャプターと結合] に切り換わります。クリックすると、チャプターが消去されます。

●[保存して閉じる] をクリックします。

チャプターが保存され、チャプター編集画面が閉じます。

チャプターの編集

再生しないシーンを設定する

●チャプターを登録します。

くわしくは「チャプターを登録する(P.22)」を参照してください。

●スキップするシーンをクリックします。



●チャプターリストで「スキップ」を選びます。



シーンのスキップが登録されます。



●必要に応じて、手順2～3を繰り返します。

●[保存して閉じる]をクリックします。

スキップが保存され、チャプター編集画面が閉じます。

スキップ指定されたシーンに基づいて「スキップ再生 (P.19)」と「スキップ書き出し (P.25)」を行います。

書き出し

コピー残数を確認する

デジタル放送では著作権保護のため、番組ごとにコピー制限が設けられています。コピー残(コピー残り回数)を事前に確認してください。

●録画一覧を表示します。

録画一覧の表示方法は P.17 を参照してください。

●コピー残数を確認します。



以下の点に注意してください

- コピー回数はあらかじめ番組によって決まっています。
ダビング 10 : 10 回 コピーワンス : 1 回
- コピー残数が「1 回」の番組を書き出すと、書き出し終了後に録画番組がハードディスクから削除されます。
- パソコン持ち出し再生(P.28)を「する」にして録画した番組は、コピー回数の 1 回を消化します。このとき、番組が「コピーワンス」の場合、書き出しができません。
※ コピーワンスは主に有料チャンネル (BS・CS) で採用されています。録画時にご注意ください。

対応メディア

メディアの種類	条件
DVD	<ul style="list-style-type: none"> ● CPRM 対応のディスクを使用してください。 ● 録画番組の容量に加えて、200MB 以上の空き容量が必要です。 ● DVD-R に書き込む場合は、ハードディスクに以下の空き容量が必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ■ DVD-R (SL) : 5GB ■ DVD-R (DL) : 10GB ● 複数の映像・音声を含む番組は、映像 1・音声 1 だけが記録されます。 ● AAC5 キーの有効期限が切れている場合、インターネット接続が必要になります。
ブルーレイ	<ul style="list-style-type: none"> ● 録画番組のファイル容量に加えて、200MB 以上の空き容量が必要です。 ● AAC5 キーの有効期限が切れている場合、インターネット接続が必要になります。 ● 書き込み済みの BD-R で、Xt やレコーダーで書き込んでいる場合は追記できません。
SeeQVault 対応メディア	<ul style="list-style-type: none"> ● SeeQVault に対応したデバイスが必要です。 ● NSM キーをダウンロードするためにインターネット接続が必要になります。 ● メディアのフォーマットは NTFS、FAT32、exFAT に対応しています。 ● メディアのフォーマットが FAT32 の場合は、1 番組につき最大 32GB まで書き出せます。 ● スキップ書き出し(P.25)は利用できません。 ● 1 つのメディアに 10000 件を超える番組を書き出すことはできません。 ● メディアのフォーマットによって、他の機器で認識できない場合があります。詳しくは、お使いの再生機器の取扱説明書をご確認ください。
SD メモリーカード microSD メモリーカード SDHC メモリーカード microSDHC メモリーカード SDXC メモリーカード 外付け USB ハードディスク	<ul style="list-style-type: none"> ● 録画済みの DVD-R、書き込み保護が設定されている DVD-RAM は使用できません。 ● BD-R (SL, DL, XL) BD-RE (SL, DL, XL) ※ 書き込み保護が設定されている BD-RE は使用できません。

必要容量の目安

DVD		ブルーレイ		SeeQVault	
DVD-VR 形式		AVCREC 形式		録画時の画質	1 時間あたり
書き出し時の画質	1 時間あたり	録画時の画質	1 時間あたり	書き出し時の画質	1 時間あたり
XP (高画質)	約 3.8GB	HX (高画質)	約 4.1GB	DR (最高画質)	※ 2
SP (標準)	約 2.0GB	HS (長時間)	約 2.2GB	DR (最高画質)	※ 2
LP (長時間)	約 1.1GB	HL (超長時間 1)	約 1.1GB	HS (高画質)	約 4GB
ぴったり	※ 1	HE (超長時間 2)	約 765MB	HS (長時間)	約 2GB
				HL (超長時間 1)	約 1.1GB
				HE (超長時間 2)	約 760MB

※ 1 ディスクの空き容量の範囲内で記録できる最高画質になるため、ディスクの空き容量によって異なります。最高で XP、最低で LP の画質となります。

※ 2 録画する放送波によって異なります。以下を目安にしてください。

BS/CS デジタル放送 (ハイビジョン)	約 10.5GB	地上デジタル放送 (ハイビジョン)	約 7.5GB
BS/CS デジタル放送 (標準)	約 4.8GB	地上デジタル放送 (標準)	約 3.5GB

録画番組を書き出す

●録画一覧を表示します。

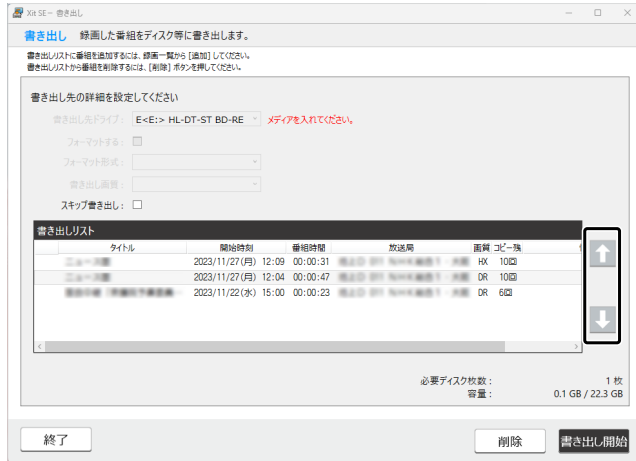
録画一覧の表示方法は P.17 を参照してください。

●書き出す番組にチェックを入れて [書き出す] をクリックします。



書き出し設定画面が表示されます。

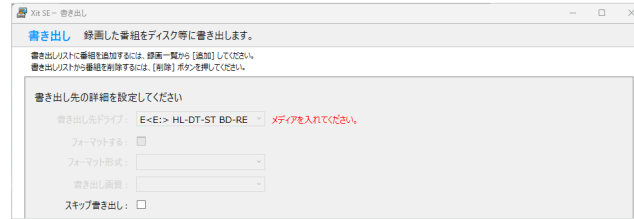
●[↑][↓]で番組の順番を入れ替えます。



●メディアをパソコンにセットします。

対応のメディアやフォーマット形式については P.24 を参照してください。

●書き出しの詳細を設定します。



書き出し先ドライブ パソコンにセットしたメディアを選びます。

メディアを初期化します。新品のメディアをセットしたときや、書き直し可能なメディアで Xit 対応のフォーマット形式に書き換え、データを削除します。

DVD の場合

フォーマット形式を選びます。

フォーマットする

● DVD-VR 形式: AVCREC 形式に比べて画質が下がりますが、幅広いプレーヤーで再生できます。

フォーマット形式

● AVCREC 形式: ハイビジョン画質をそのまま記録できますが、再生には AVCREC 形式に対応した機器が必要になります。

SeeQVault 対応メディアの場合

● Xit 対応のフォーマット形式で、Xit や他社のレコーダーで書き込んだ録画番組を保存しているときにフォーマットを行うと、メディア内の録画番組のみを削除します。

画質を選びます。

書き出し画質

● SeeQVault メディアに書き出して携帯端末で再生するとき、「録画時の画質」「高画質」「標準画質」で書き出すと、お使いの機種によって再生できない場合があります。このとき、携帯端末での再生に適したサイズに圧縮する「モバイル向け画質」で書き出してください。ただし、書き出しに時間がかかります。

スキップ書き出し

スキップが指定されている番組の本編だけが書き出されます。設定の「リアルタイム番組解析 (P.28)」を [ON] にして録画した番組、または、「チャプター編集 (P.23)」でスキップを指定できます。

● SeeQVault メディアの場合、スキップ書き出しの設定は選択できません。

●[書き出し開始]をクリックします。

●メッセージを確認して [はい] をクリックします。

書き出しが開始されます。

ディスクが 2 枚以上必要なときは、1 枚目の書き出し完了後にメッセージが表示されます。メッセージの指示にしたがってディスクを入れ換えてください。

書き出し中のご注意

- パソコンをスリープ・休止状態にしたり、ログオフ・再起動・シャットダウンをしないでください。書き出しに失敗する場合があります。
- 書き出しをキャンセルするときは、タスクトレイの Xit アイコンを右クリックして、[書き出しをキャンセルする] を選んでください。

● 書き出しに失敗したりキャンセルしても、書き出し可能回数は 1 回減ります。(SeeQVault 対応メディアへの書き出しを除く)

設定する

設定画面を表示する

■ 視聴画面から表示する

● 視聴画面を表示します。

視聴画面の表示方法は P.9 を参照してください。

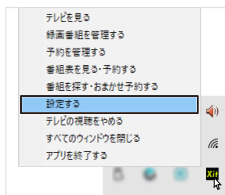
● メニューで [設定] を選びます

設定画面が表示されます。



■ パソコンのタスクトレイから直接表示する

● タスクトレイの Xit を右クリックし、[設定する] をクリックします。



設定画面が表示されます。

テレビ設定	
地域 / チャンネルスキャン	チャンネル情報を最新の状態に更新します。引っ越しなどで受信する地域や環境が変わったときに行います。番組表に表示させるチャンネルを選択したり、受信レベルの確認もできます。
チューナー / アンテナ	アッテネータ 地上デジタル放送の受信感度が高すぎるときに [ON] にします。 アンテナ電源 衛星放送のアンテナへの電源供給を設定します。[ON] にすると、Xit の起動中はアンテナに電源を供給します。
選局番号割り当て	1-12 の番号にお好みのチャンネルを割り当てます。キーボードの数字キーが使用できます。
視聴設定	
音声出力	お使いの環境に応じて、音声の出力形式を設定します。くわしくは P.27 を参照してください。
映像表示	お使いの環境に応じて、映像のデコード方式を設定します。くわしくは P.27 を参照してください。
録画 / 再生設定	
再生	再生をスキップするときの秒数を設定します。 番組全体の再生時間に対して、時間の長短を設定します。 長い : 約 50% やや短い : 約 10% やや長い : 約 30% 短い : 約 5%
ダイジェスト再生時間	
保存先ドライブ	録画番組の保存先ドライブを設定します。くわしくは P.27 を参照してください。 録画番組のデータ放送記録の有無、画質、保存先を設定します。録画画質については P.28 を参照してください。 ※ 録画番組の保存先を「クラウド」にした場合、画質は HX に切り換わります。 ※ 記録するデータ放送は双方向サービスを除きます。また、一部のチャンネルや、映像・音声のみのデータ放送番組は再生できない場合があります。
録画	
番組解析	録画番組の解析について設定します。くわしくは P.28 を参照してください。
パソコン持ち出し再生	録画した番組をチューナーを接続せずに再生できます。くわしくは P.28 を参照してください。
番組自動削除	おまかせ予約で自動的に録画された番組を削除する条件を設定します。録画件数、または未視聴期間が設定できます。 録画情報管理ツールを起動します。くわしくは P.30 を参照してください。 ※ 録画情報管理ツールを起動すると、Xit は完全に終了し録画や録画準備が停止します。また、起動中は予約録画が実行されないため、予約がないときに起動してください。
録画情報管理ツール	
データ放送設定	
視聴地域	データ放送の天気予報などに使用される視聴地域を設定します。 データ放送の取得方法と双方向通信の設定を行います。 ※ 音声のみの番組やデータ放送のみの番組では、設定にかかわらずデータ放送を自動的に取得します。
自動取得 / 双方向通信	

クラウド設定	
クラウドストレージ管理	専用のクラウドストレージの契約状況を表示します。契約することで録画番組をクラウドへ保存できます。1ヶ月間は無料です。ぜひお試しください。くわしくは PIXELA CLOUD (https://www.pixela.co.jp/products/cloud/) を参照してください。
詳細設定	
視聴制限	視聴する番組を年齢で制限します。くわしくは P.29 を参照してください。
通信	内部ネットワークなどに接続されたパソコンをお使いの場合にプロキシ設定をします。
配信	Xit の録画番組をホームネットワーク上の他の機器で再生するための設定です。くわしくは「ホームネットワークでの共有 (P.20)」を参照してください。
動作履歴設定	ご利用情報を送信したり、オススメ番組の表示を変更します。くわしくは P.29 を参照してください。
番組表設定	
番組表自動取得	パソコンがスリープ/休止状態のときでも、取得予定日にパソコンを復帰して番組情報を自動取得します。 ※ 番組情報の取得中はスリープ/休止が解除されます。
お知らせ	
放送メール	地上デジタル放送と BS デジタル放送から放送波を通じて送られるお知らせを表示します。 ※ 受信から 30 日以上経過したお知らせは、未読・既読にかかわらず自動的に削除されます。
CS ボード	CS デジタル放送の放送局から放送波を通じて送られるお知らせを表示します。
受信機メッセージ	受信機からのお知らせを表示します。新しいチャンネルの開局情報などがあります。
情報	
B-CAS 番号	使用している B-CAS カード情報が表示されます。B-CAS カードに問題がある場合は「カードの状態」を確認してください。
アプリケーション情報	Xit のバージョン情報が表示されます。
設定初期化	
初期化	Xit を製品出荷時の状態に戻します。これまでに収集した情報はすべて消去されます。初期化後は、「初回設定 (P.8)」の画面が表示されます。 ※ 録画番組は削除されません。録画一覧または録画管理ツール (P.30) から削除してください。

※ お使いのチューナーによっては、表示されない項目があります。

音声の出力形式を変更する

音声の出力形式を選びます。

●設定画面を開いて、以下の項目を選択します。

設定の表示方法は P.26 を参照してください。

視聴設定



音声出力

●お使いの環境に応じて選択します。

AAC	音声形式を AAC 形式にして出力します。
PCM (ダウンミックスあり)	音声形式を PCM 形式にして出力します。5.1ch(サラウンド)の音声を 2ch(ステレオ)に変換して出力します。
PCM (ダウンミックスなし)	音声形式を PCM 形式にして出力します。5.1ch(サラウンド)の音声をそのまま出力します。

■ AAC の場合、以下の制限があります。

- 設定を適用するため、一度「待機モード(P.7)」にしてください。
- パソコンに接続している音声機器が、AAC デジタル音声に対応している場合のみ設定できます。
- 音声機器のサンプリング周波数が 32kHz の場合は自動的に PCM に設定されます。
- Xit で音量の調整はできません。音量を調節したいときは、スピーカーの音量を調節してください。
- OS の PCM 音声には対応していません。
- 主 / 副 / 主 + 副の切り換えには対応していません。

映像の表示方法を変更する

映像のデコード方式を選びます。

●設定画面を開いて、以下の項目を選択します。

設定の表示方法は P.26 を参照してください。

視聴設定



映像表示

●お使いの環境に応じて選択します。

自動	お使いの環境に最適なデコード方式を自動で選択します。
ハードウェア(DXVA)	ハードウェアの支援機能(DXVA)を使って映像をデコードします。 ※ 映像が表示されない、または表示が乱れる場合、ソフトウェアを選択することで改善することがあります。
ソフトウェア	ソフトウェアで映像をデコードします。映像の表示は HD 画質で表示します。
ソフトウェア (ダウンスケール)	ソフトウェアで映像をデコードします。映像の表示は SD 画質で表示します。

録画するHDDの優先度を設定する

録画番組を保存する HDD を指定します。複数用いる場合は優先度を設定します。

- クラウドストレージに保存する場合は、設定の [録画 / 再生設定]-[録画] で「クラウド」を指定してください。

●設定画面を開いて、以下の項目を選択します。

設定の表示方法は P.26 を参照してください。

録画 / 再生設定



保存先ドライブ

●使用するドライブにチェックを入れます。(複数選択可)

- 録画番組が保存されているドライブのチェックをはずすと、保護した番組も含めて、録画番組がすべて削除されます。

●[最初に使用する保存先ドライブ]を選択します。

2 つ以上のドライブを保存先にする場合、一番先に使用するドライブを指定します。比較的空き容量が多いドライブを選ぶことをおすすめします。

●[OK] をクリックします。

保存先の変更は、すでに登録している録画予約にも適用されます。

リリース録画

指定した保存先ドライブがいっぱいになったときに、自動的に保存先ドライブを切り換えて録画を続けます。2 つ以上のドライブを指定しておいてください。

- ※ 保存先を 3 つ以上指定していても、1 回の録画につき、リリース録画は一度だけ実行されます。

録画番組を別のドライブへ移動する

設定の「録画情報管理ツール(P.30)」を用いて行います。

- ※ 番組単位で保存場所を移動する場合は、「録画一覧(P.17)」で行います。

- Windows 上でファイルを直接移動させると再生できなくなります。

設定する

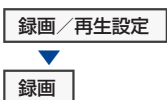
録画画質を変更する

録画の画質をあらかじめ指定しておくことができます。

※ 予約録画では、予約の登録時に個別に画質を変更することができます。

●設定画面を開いて、以下の項目を選択します。

設定の表示方法は P.26 を参照してください。



●[画質モード] のリストから画質を選びます。



画質が良いほど、録画可能時間が短くなります。また、DR 画質以外の画質モードを選択した場合、放送されている画質を圧縮して保存します。

※ 録画番組の保存先を「クラウド」にした場合、画質は HX に切り換わります。

※ お使いのチューナーによっては、2 番組を同時録画する場合、HX 以下の画質の録画が同じ時間帯で重複すると、いずれか一方の録画が自動的に DR に変更されます。

●[OK] をクリックします。

画質モードは、設定後に録画を開始した時点から適用されます。

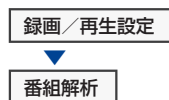
※ 現在録画中の番組、すでに登録されている録画予約の画質モードは変更されません。

番組を解析する

録画しながら、番組の本編とそれ以外の場面を解析します。

●設定画面を開いて、以下の項目を選択します。

設定の表示方法は P.26 を参照してください。



●お好みの設定に変更します。

リアルタイム番組解析

録画番組を解析して、チャプターを自動で設定し、本編のみを再生できる「スキップ再生 (P.19)」と書き出せる「スキップ書き出し (P.25)」が利用できます。

- ※ お使いのパソコンの性能によっては、視聴中にコマ落ちする場合がありますが、録画には影響ありません。
- ※ 番組によっては、本編と本編以外の解析が正常に行われない場合があります。
- ※ 設定を変更した場合、すでに登録している録画予約にも適用されます。

見どころアシスト解析

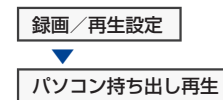
録画した番組で「シーンサムネイル (P.18)」と「キーワードレビュー (P.17)」が利用できます。
シーンサムネイルは録画番組の再生中にシークバーの上にその場面のサムネイルを表示します。

パソコンを持ち出して再生する

録画した番組をチューナーを接続せずに再生できます。外出先でノートパソコンに録画した番組を見る、といった使い方ができます。

●設定画面を開いて、以下の項目を選択します。

設定の表示方法は P.26 を参照してください。



●お好みの設定に変更します。

- パソコン持ち出し再生を「する」にして録画した番組は、書き出しのコピー回数を 1 回消化します。このとき、番組が「コピーワンス」の場合、書き出しができません。くわしくは「コピー残数を確認する (P.24)」を参照してください。

設定する

番組を自動で削除する

おまかせ予約（P.15）で自動的に録画された番組を削除する条件を設定します。

●設定画面を開いて、以下の項目を選択します。

設定の表示方法は P.26 を参照してください。

録画／再生設定



番組自動削除

●お好みの設定に変更します。

録画件数	おまかせ予約で録画された番組が、指定した件数を超える場合に、古いものから順番に削除します。件数を指定しない場合は、[なし]を選んでください。
未視聴期間	録画後、指定した期間が過ぎると、おまかせ予約で録画した未視聴の番組のうち、古いものから順番に削除します。 ※ 設定した条件が適用されるまでに時間がかかる場合があります。 ※ 保護がかけられている番組には適用されません。

視聴年齢制限を設定する

年齢制限を設定した番組を視聴・再生しようとしたときに映像と音声も自動的に停止して、暗証番号の入力を求めます。

※ 番組情報に年齢制限が記載されていても、放送波で指定されていない場合があります。この場合、視聴制限は適用されません。

●設定画面を開いて、以下の項目を選択します。

設定の表示方法は P.26 を参照してください。

詳細設定



視聴制限

●[新規暗証番号]に 4 桁の数字を入力します。

●[(再入力)新規暗証番号]にもう一度、同じ数字を入力します。

●[登録]をクリックします。

暗証番号が設定され、入力画面が表示されます。

●手順②で設定した暗証番号を入力して、[確定]をクリックします。

[視聴年齢制限]のリストが選択できるようになります。

●年齢を選びます。

設定した年齢が番組の年齢制限よりも小さい場合、映像と音声の出力が停止され、暗証番号の入力を求められます。

●[OK]をクリックします。

対象番組の録画について

視聴年齢制限の対象番組でも録画できます。ただし、再生時は、暗証番号の入力が必要です。

オススメ番組を表示する

動作履歴の送信とオススメ番組の表示を設定します。

●設定画面を開いて、以下の項目を選択します。

設定の表示方法は P.26 を参照してください。

詳細設定



動作履歴設定

●お好みの設定に変更します。

動作履歴送信	[ON] にすると動作履歴の送信が行われます。送信される内容は許諾表示をご確認ください。 ※ 送信される情報に個人情報は含まれません。 ※ インターネット接続が必要です。
オススメ番組の表示	オススメ番組情報を取得して、裏番組表・番組表・番組検索に表示するには、[オススメ番組の表示]を[ON]にします。動作履歴を送信が[ON]の場合は、より関連性の高いオススメを表示することができます。 ※ インターネット接続が必要です。

録画情報管理ツール

録画情報管理ツールを起動する

録画情報管理ツールは Xit と一緒にインストールされるアプリケーションです。主に、以下のような場合に使用します。

- パソコン環境の変更などにより、これまでに録画した番組が再生できない場合
- 保存先ドライブの録画番組を別のドライブに移動したいとき

●設定画面を開いて、以下の項目を選びます。

設定の表示方法は P.26 を参照してください。

録画 / 再生設定

録画情報管理ツール

Xit が終了し、録画情報管理ツールが起動します。

※録画情報管理ツールを起動すると、Xit は完全に終了し録画や録画準備が停止します。また、起動中は予約録画が実行されないため、予約がないときに起動してください。

復元開始	録画番組保存先フォルダ内の録画番組を復元します。 システムリカバリ等で失われた録画番組を復元できる可能性があります。
デバイス初期化	キャプチャデバイスの録画情報を削除します。新しいパソコンで使い始めるときや、パソコンに録画番組のデータがないときに、デバイスに残った不要な録画情報を削除します。
録画情報削除	すべての録画番組データと キャプチャデバイスに記録されているすべての録画情報データを削除します。
録画情報移動	録画番組の保存先ドライブにあるすべての録画番組データを 別のドライブに移動します。 移動元 C:\XitRec\ 移動先 C:\XitRec\
管理外ファイル削除	録画番組保存先フォルダ内で、不要となった管理外ファイル(※1)をクリーンアップします。 管理外ファイルを削除することで、ディスク空き容量を確保できる可能性があります。

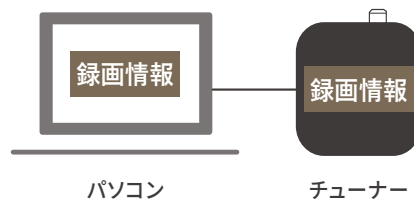
0%

※1 管理外ファイルとは、未接続のハードディスクの録画番組を削除した場合などに発生する、アプリケーションの管理から外れた不要なファイルです。

終了

録画時に生成されるデータと管理について

番組を録画すると、パソコンとチューナーそれぞれに録画情報が生成されます。

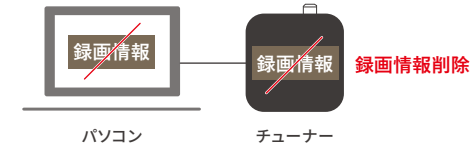


以下に注意して管理してください。

- パソコンとチューナーの録画情報は、番組の再生に両方が必要です。
- パソコンとチューナーの録画情報は、パソコンの起動ドライブに紐付いているため、パソコンを新しく買い換えるなどしたときは、正しい手順でのデータ移行が必要です。くわしくはビクセラの公式 HP の Q&A を参照してください。
① Windows 上でファイルを直接移動させると再生できなくなります。また、正しい手順で移行した場合にも、「パソコン持ち出し再生 (P.28)」と「見どころアシスト機能 (P.28)」が使用できない制限があります。
- 録画情報をすべて消去するときは、[録画情報削除] を実行し、データを削除してください。
- パソコンの OS を再インストールしたり、外付け HDD をフォーマットしてパソコンの録画情報が消えたときは、[デバイス初期化] を実行し、チューナーに残った録画情報を削除してください。

すべての録画情報を削除する

パソコンとチューナーに保存されている録画情報すべてを削除します。過去のデータをすべて消去し、新たに使い始めるときに行います。



●「録画情報管理ツール」を起動します。

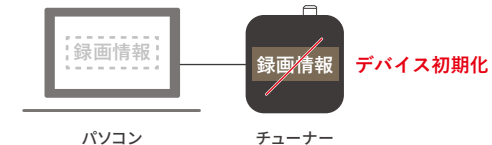
●[録画情報削除] をクリックします。

●表示されるメッセージの内容を確認して [はい] をクリックします。

録画情報の削除が開始されます。

チューナーの録画情報を削除する

チューナーに保存されている録画情報を削除します。何らかの理由でパソコンの録画情報がなくなったときに行います。



●「録画情報管理ツール」を起動します。

●[デバイス初期化] をクリックします。

※パソコンとチューナーの録画情報に不整合があるときに、ボタンが押せる状態になります。

●表示されるメッセージの内容を確認して [はい] をクリックします。

チューナーの初期化が開始されます。

録画番組を別のドライブへ移動する

録画番組を別のドライブへ移動します。

❗ Windows 上でファイルを直接移動させると再生できなくなります。

- 「移動元」のリストで現在の保存先のドライブを選びます。

※ 移動できるドライブが認識されたときに、保存先を選択できる状態になります。

- 「移動先」のリストで新しい保存先のドライブを選びます。

- 「録画情報移動」をクリックします。

録画番組の移動が開始されます。

番組単位で保存場所を移動する

録画一覧(P.17)で番組を選んで、保存場所を移動できます。

再生できなくなった番組を復元する

OS のリカバリやディスクイメージの復元後に、録画番組が再生できない場合に録画情報をもとに戻します。

※ バックアップデータが存在する場合のみ復元が成功します。

- 「録画情報管理ツール」を起動します。

- 「復元開始」をクリックします。

録画情報の復元が開始されます。

管理外のファイルを削除する

保存先に指定したドライブ内にある、アプリケーション管理外のファイルを削除します。

- 「管理外ファイル削除」をクリックします。

- 表示されるメッセージの内容を確認して「はい」をクリックします。

管理外ファイルの削除が開始されます。

管理外のファイルとは

アプリケーションの管理下から外れた不要なファイルを指します。外付けの HDD を未接続の状態、録画ファイルを削除した場合などに発生します。管理外ファイルを削除することで、ディスクの空き容量を増やせる可能性があります。

※ 別のパソコンの Xit で録画保存先として利用した HDD を接続した状態で「管理外ファイル削除」を行うと、本機で録画した番組以外は削除されます。

テレビの視聴について

地上デジタル放送が映らない

原因	対処
地上デジタル放送に対応したアンテナを使用していない	地上デジタル放送に対応した UHF アンテナを使用してください。
B-CAS カードが正しく挿入されていない	B-CAS カードが正しく挿入されていないと、デジタル放送を画面に表示できません。正しい方向で挿入してください。
ケーブルテレビの伝送方式が対応していない	ケーブルテレビで視聴する場合、ケーブルテレビの伝送方式が同一周波数バススルー方式または周波数変換バススルー方式の場合のみ視聴できます。 ※ 伝送方式については、ご契約のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
チャンネル設定と地域が合っていない	受信の地域を選ぶとき、実際にお住まいの地域よりも、隣接した地域を選んだほうが良い場合があります。 設定 (P.21) の「地域 / チャンネル」で隣接地域を選んでチャンネルスキャンを行って、普段使用しているチャンネルが表示されるかを確認してください。

地上デジタル放送の一部のチャンネルが映らない

原因	対処
電波が弱い	設定 (P.26) の「地域 / チャンネルスキャン」で受信レベルを確認してください。60 以上が正常に受信できている目安です。それ以下の場合は、アンテナの向きを調整してください。 なお、電波が強すぎる場合も受信レベルが下がる事があります。

地上デジタル放送の映像が乱れる・コマ落ちする

原因	対処
UHF アンテナの向きが違う	地上デジタル放送の送信塔を確認のうえ、アンテナの向きを調整してください。 ※ くわしくはアンテナ工事業者やお近くの電気店などにご相談ください。
電波が弱い	設定 (P.26) の「地域 / チャンネルスキャン」で受信レベルを確認してください。60 以上が正常に受信できている目安です。それ以下の場合は、アンテナの向きを調整してください。
アンテナケーブルまたはアンテナ変換ケーブルの接続がゆるい	アンテナケーブルまたはアンテナ変換ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、アンテナケーブルは、ノイズの入りにくいネジ式 F 型コネクタで接続してください。
分配器によって電波が弱まっている	分配器を使用している場合は、分配器を外して壁面のアンテナ端子またはパソコンに直接接続してください。

原因	対処
他のアプリケーションが動作している	以下の場合、他のアプリケーションの動作で影響を受けることがあります。 <ul style="list-style-type: none">セキュリティソフトがウイルススキャンをしているときWindows Media Player (ウィンドウズメディアプレーヤー) などの他のアプリケーションが動作しているとき
パソコンの電源設定が適切でない	Xit を使用するときには、電源プランの設定を [バランス] または [高パフォーマンス] にしてください。それ以外の設定では、映像がコマ落ちすることがあります。以下の手順で設定します。 <ol style="list-style-type: none">スタート画面で [設定] をクリックします。[システム] をクリックします。[電源とスリープ] をクリックします。[電源の追加設定] をクリックします。設定を [バランス] または [高パフォーマンス] にします。

テレビの視聴について

BS・CSデジタル放送が映らない

原因	対処
BS・CS デジタル放送に対応したアンテナを使用していない	BS・CS デジタル放送の視聴には専用のアンテナやブースター、ケーブルなどがが必要です。 ※ くわしくはアンテナ工事業者やお近くの電気店などにご相談ください。
アンテナに電源が供給されていない	BS・CS デジタル放送用アンテナをご自身で設置している場合、アンテナへの電源供給が必要です。 設定の [テレビ設定] - [チューナー / アンテナ] で [アンテナ電源 (LNB 電源) 設定] を [ON] にしてください。
有料放送の申し込みをしていない	有料放送を視聴するには別途申し込みが必要です。くわしくは各放送局にお問い合わせください。
B-CAS カードが正しく挿入されていない	B-CAS カードが正しく挿入されていないと、デジタル放送を画面に表示できません。正しい方向で挿入してください。

BS・CSデジタル放送の映像が乱れる・コマ落ちする

原因	対処
雨、強風などの悪天候の影響でアンテナが揺れたり、電波が弱くなっている	BS・CS デジタル放送は、雨、雪、雷雲などの悪天候により、衛星からの電波が弱まる場合があります。この場合は、天候が回復するまでお待ちください。なお、悪天候時に録画した番組は正常に再生できない場合があります。
電波が弱い	設定 (P.26) の「地域 / チャンネルスキャン」で受信レベルを確認してください。60 以上が正常に受信できている目安です。それ以下の場合は、アンテナの向きを調整してください。
分配器によって電波が弱まっている	分配器を使用している場合は、分配器を外して壁面のアンテナ端子またはパソコンに直接接続してください。
他のアプリケーションが動作している	以下の場合、他のアプリケーションの動作で影響を受けることがあります。 <ul style="list-style-type: none">• セキュリティソフトがウイルススキャンをしているとき• Windows Media Player (ウィンドウズメディアプレーヤー) などの他のアプリケーションが動作しているとき

録画や予約について

録画できない場合があります

以下の場合には録画できません。

- 天候の影響などで受信状況が悪い場合
- 録画しようとしている番組がコピー不可の番組や、有料放送で視聴契約を結んでいない番組の場合
- 保存先ドライブの空き容量が 5GB を下回った場合
 - ※ リリース録画(P.27)設定時を除く
- 録画番組数が 10,000 件を超えるとき
- 録画中に、パソコンをスリープ、ログオフ、再起動、シャットダウンした場合
 - ※ 一部のチャンネルや、映像・音声のみのデータ放送番組では録画しても再生できない場合があります。
 - ※ Windows Update によるパソコンの再起動のため録画が失敗することもあります。

エラーメッセージが表示されて録画できないとき

「キャプチャボードに保存できる録画番組数の上限を超えるため、録画を中止しました。」というメッセージが表示されるときは、不要な録画番組を削除してください。

予約できない場合があります

予約の方法によっては、予約を登録できない場合があります。

予約の種類	予約できない原因
番組表予約	<ul style="list-style-type: none">● 対象の番組がコピー不可または有料放送で視聴契約を結んでいない● 現在時刻が番組終了時刻まで 1 分 30 秒未満である● タイマー予約との合計予約数が 300 件を超えている
タイマー予約	<ul style="list-style-type: none">● 開始時刻まで 1 分未満である● 開始時刻と終了時刻が同じである● 番組表予約との合計予約数が 300 件を超えている
おまかせ予約	<ul style="list-style-type: none">● 予約数が 300 件を超えている● 予約登録時に、番組表に情報がない● おまかせ予約で使用している検索条件を削除している(すでに登録されているおまかせ予約も削除されます)

指定した画質で録画されていない

お使いのチューナによっては、HX 以下の画質での同時録画はできません。HX 以下の画質の録画が同じ時間帯で重複した場合、いずれか一方の録画が自動的に DR に変更されます。DR で録画された番組は、録画番組一覧で「振替 DR」と表示されます。

※ 録画済みの番組の画質モードを変更することはできません。

録画予約に失敗する

原因	対処
放送予定の変更により予約した番組の開始が遅れたため、次の予約が優先された	予約結果に以下のようなメッセージが表示されます。 「別の予約を優先したため予約を中止／中断しました。」 「予定されていた番組が放送されなかったため、録画を中止しました。」 ※ 予約後に番組編成が変更された場合、変更された日時に追従しない場合があります。
スポーツ番組の延長または雨天中止などにより予約番組の放送が中止された	予約結果に以下のようなメッセージが表示されます。 「予定されていた番組が放送されなかったため、録画を中止しました。」 ※ 予約後に番組編成が変更された場合、変更された日時に追従しない場合があります。
パソコンを強制終了していた	予約結果に以下のようなメッセージが表示されます。 「アプリケーション未起動のため録画を中止しました。」 ※ パソコンを終了した状態では、録画予約の実行ができません。パソコンを再度起動して、Xit を「待機モード(P.7)」にしてください。
Xit が完全に終了している	タスクトレイの  を右クリックして「終了する」にした場合、Xit が完全に終了するため、予約録画が実行されません。予約録画があるときは「待機モード(P.7)」にしておいてください。
予約開始時に Windows Update が行われていた	録画中に Windows Update が開始されると、録画が正常に行われないうことがあり得ます。録画と Windows Update の実行が重ならないようにしてください。 Windows Update の設定はスタート画面で [設定] をクリックして、[更新とセキュリティ] - [Windows Update] - [再起動のオプション]で行います。
パソコンの時刻設定が合っていない	パソコンの時刻が合っていないときは予約録画が正しく行われません。 時刻の設定は、デスクトップ画面で画面右下の時刻表示をクリックして、[日付と時刻の設定の変更...]から行います。
スリープ・休止状態からの復帰ができなかった	「スリープ解除タイマーの許可」を無効にしていると、スリープ・休止状態からの予約録画ができません。 「スリープ解除タイマーの許可」の設定はスタート画面で [設定] をクリックして、[システム] - [電源とスリープ] - [電源の追加設定] - [バランス] または [高パフォーマンス] の [プラン設定の変更] - [詳細な電源設定の変更] - [スリープ]で行います。

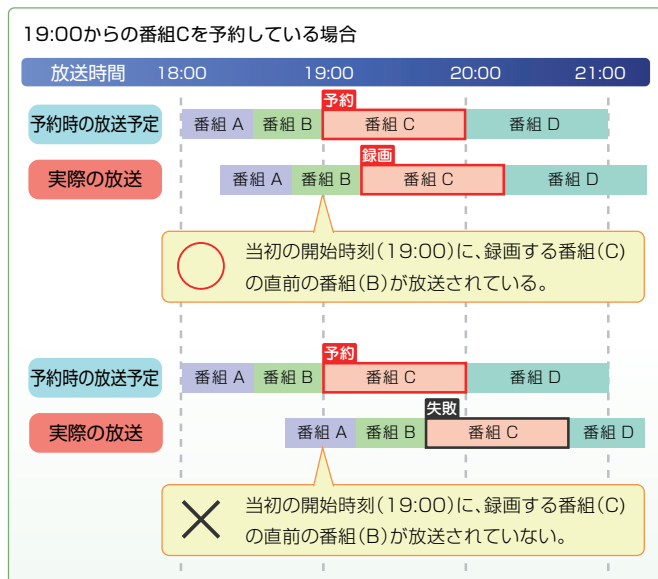
録画や予約について

予約した番組が遅延や延長したとき

番組の遅延・延長には以下のように対応します。

■番組の開始が遅れた場合

遅れて開始される時刻に合わせて録画されます。ただし、予約時の開始時刻に、録画する番組の直前の番組が放送されている場合に限り（下図）。



※ 最新の番組表で、当初の開始時刻から3時間以内に見つからない場合はキャンセルされます。
※ 番組表予約でくりかえし録画を設定している場合、タイトルの一部の文字列が同じ番組を予約時間の前後4時間で探して自動的に予約を変更します。

■番組が延長された場合

延長分も続けて録画します。イベントリレー（延長部分が別のチャンネルで放送される）の場合は、自動的にチャンネルを切り換えて録画を続行します。

予約が重なったとき

予約の時間帯が重複する場合は、以下の順番で予約が実行されます。

1. 番組表予約・タイマー予約
2. 手動録画
3. おまかせ予約

優先順位の同じ予約が重なる場合

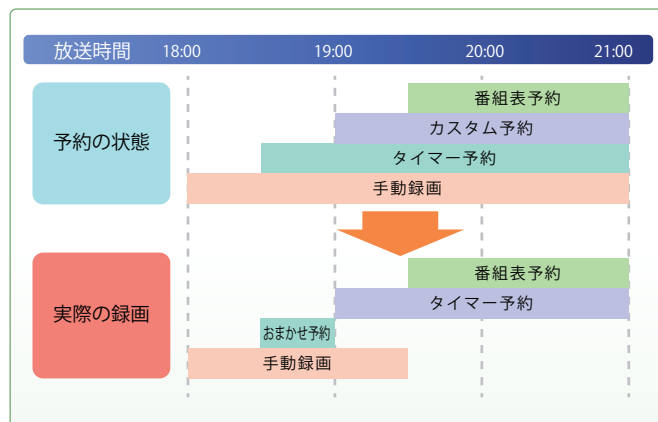
以下の予約が優先されます。

- 開始時刻が遅い方の予約
- 同時刻に開始される場合は、先に登録された予約

※ 番組の遅延によって予約の時間が変更になった場合でも、当初の予約設定に上記のルールが適用されます。

■例1：手動録画の途中で予約録画が始まったとき

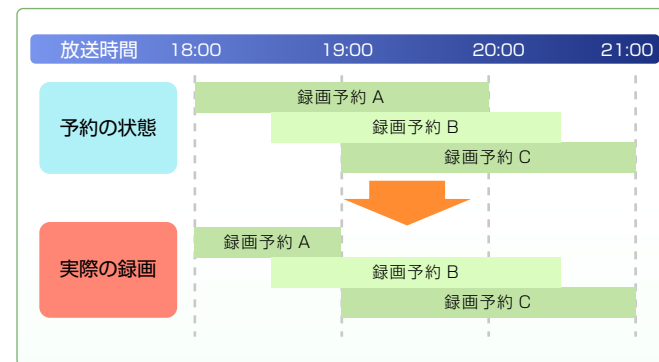
予約の種類の優先順位にしたがって予約が実行されます。



※ 上図は2番組同時録画に対応する機種の場合の例です。同時に録画できる番組の数は機種によって異なります。

■例2：優先順位の同じ予約が重複したとき

後からはじまる予約が実行されます。開始時刻が同じ場合は、先に登録された予約が優先されます。



※ 上図は2番組同時録画に対応する機種の場合の例です。同時に録画できる番組の数は機種によって異なります。

予約一覧で【番組情報未取得】と表示される場合

番組表予約で繰り返しを設定した予約が、予約一覧で【番組情報未取得】と表示されることがあります。

予約録画の終了時に、自動的に次回の番組の予約を登録します。その際、以下にあてはまる場合に【番組情報未取得】と表示され、タイマー予約に振り換えられた状態になります。

- 次回の番組情報がない場合
- 次回の番組情報は存在しているが、対象番組が見つからなかった場合

番組情報が更新され、該当する番組が見つかったら、予約の情報は「番組表予約」に切り換わり、【番組情報未取得】の表示は消えます。

繰り返し予約を今回だけ解除する

【番組情報未取得】のまま、該当する番組情報が取得できなかった場合、最初に予約した時点の番組開始時間から終了時間までのタイマー録画が行われます。例えば特番などで放送されないことが確定している場合、予約設定編集画面から【今回のみ解除】ボタンを押すことで、繰り返し予約を1回だけスキップすることができます。

また、【番組情報未取得】となっていない場合、例えば予約が重複してしまった番組指定の繰り返し予約を、同様に1回だけスキップして重複を回避することが可能です。

エラーメッセージが表示される

エラーメッセージ一覧

原因	対処
放送チャンネルではないため、視聴できません。コード：E200	別のチャンネルを選んで視聴してください。
この受信機ではこのチャンネルは受信できません。コード：E210	別のチャンネルを選んで視聴してください。
受信レベルが低下しています。悪天候による受信不良、またはアンテナ線の接続状態に問題がある可能性があります。コード：E201	悪天候でアンテナの受信レベルが低下しているときに表示されます。天候に問題がないときに表示される場合は、アンテナの接続が正しくないおそれがあります。接続を確認してください。
信号が受信できません。悪天候による受信不良、またはアンテナ線の接続状態に問題がある可能性があります。コード：E202	悪天候でアンテナの受信レベルが低下しているときに表示されます。天候に問題がないときに表示される場合は、アンテナの接続が正しくないおそれがあります。接続を確認してください。
現在放送されていません。コード：E203	放送されていないチャンネルのため視聴できません。
このチャンネルは存在しません。コード：E204	存在しないチャンネルに切り換えたときに表示されます。チャンネル番号が間違っていないか確認してください。
センターに接続できませんでした。電話回線またはインターネット接続をご確認ください。コード：E301	パソコンがインターネットに接続されているか確認してください。
通信ができませんでした。電話回線またはインターネット接続をご確認ください。	パソコンがインターネットに接続されているか確認してください。
B-CAS カードを正しく装着してください。	正しい方向で B-CAS カードを挿入してください。
年齢制限設定がありません。	視聴年齢制限が未設定の場合に、年齢制限のある番組を視聴しようとすると表示されます。必要に応じて、設定の「視聴年齢制限 (P.29)」を設定してください。
保存先ドライブの HDD 容量が不足しているため、録画を中止 / 中断しました。	録画開始時または録画中に保存先ドライブの容量が 5GB 以下になったときに表示されます。録画済みの番組を削除するなどして、保存先ドライブの空き容量を確保するか、設定の「保存先ドライブ (P.27)」で新しいドライブを保存先に追加してください。
ディスプレイやその他の使用機器が非対応、またはそれらの設定や接続に問題があるため映像・音声の出力を停止しました。映像デバイスを確認してください。	「[はい]」をクリックしてメッセージを消してください。Xit の動作が停止したときは、Xit を終了して、パソコンを再起動してください。
使用中の録画番組が含まれているため書き出せません。	書き出そうとしている番組が録画中または再生中です。録画が終了するまで待ったり、再生を停止したりしてから書き出してください。

原因	対処
削除された録画番組が含まれているため書き出せません。	書き出そうとしている番組がありません。書き出す番組の候補から外してください。
録画番組が配信中のため書き出せません。 または 配信中の録画番組が含まれているため書き出せません。	書き出そうとしている録画番組がホームネットワーク上の他の機器で再生されています。他の機器での再生を停止してください。
書き出しのサポート期限が切れているため書き出せません。 サポートページを確認して更新してください。	暗号化されたデータを読み取るために必要な暗号鍵の有効期限が切れています。表示されるサポートページの案内にしたがってください。

ライセンス

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (ey@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscape's SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com)"
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

ライセンス

The FreeType Project LICENSE

2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by

David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction

The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

- We don't promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. ('as is' distribution)
- You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. ('royalty-free' usage)
- You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. ('credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products. We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

=====
Portions of this software are copyright (C) <year> The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

=====
Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms

0. Definitions

Throughout this license, the terms 'package', 'FreeType Project', and 'FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the 'FreeType Project', be they named as alpha, beta or final release.

'You' refers to the licensee, or person using the project, where 'using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a 'program' or 'executable'. This program is referred to as 'a program using the FreeType engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive. If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED 'AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

- Redistribution of source code must retain this license file ('FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.
- Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: 'FreeType Project', 'FreeType Engine', 'FreeType library', or 'FreeType Distribution'. As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it. Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:

freetype@nongnu.org

Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution. If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.

freetype-devel@nongnu.org

Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at <http://www.freetype.org>

ライセンス

Libjpeg

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane. All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.

(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".

(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by M.I.T. but is also freely distributable.

It appears that the arithmetic coding option of the JPEG spec is covered by patents owned by IBM, AT&T, and Mitsubishi. Hence arithmetic coding cannot legally be used without obtaining one or more licenses. For this reason, support for arithmetic coding has been removed from the free JPEG software. (Since arithmetic coding provides only a marginal gain over the unpatented Huffman mode, it is unlikely that very many implementations will support it.) So far as we are aware, there are no patent restrictions on the remaining code.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that

"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

本製品における MPEG-4 ライセンスについて

本製品は、MPEG-4 ビジュアル規格特許ライセンスを管理する MPEG LA LLC から弊社が製造・販売のライセンス許諾を得て提供しているものです。MPEG-4 ビジュアル規格に準拠した状態で、本製品を個人が無償で使用することは、前記ライセンス許諾の範囲内であり許可されています。上記以外の使用については許可されておりません。